

高齢者アンケート調査の結果を公表します

市では、平成24年度から26年度を計画期間とする「第5期匝瑳市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定を進めています。

この計画は、介護・福祉サービスを総合的かつ一体的に提供するため、また、高齢化社会を共に支え合う地域づくりのための指針となるものです。

計画の策定にあたり、高齢者の実態やニーズ、地域課題などを的確に把握するために実施した「日常生活圏域ニーズ調査」(以下「ニーズ調査」)および「要介護(要支援)認定者アンケート調査」(以下「要介護者調査」)について、主な結果をお知らせします。

市では、今回の調査結果を次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のための基礎資料とさせていただくとともに、本市の高齢者施策充実に生かして、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるための保健福祉サービスの充実に努めてまいります。

なお、詳細については、調査結果報告書などを市ホームページで公表します。

ご協力ありがとうございました。

☎高齢者支援課介護保険班 ☎73-0033



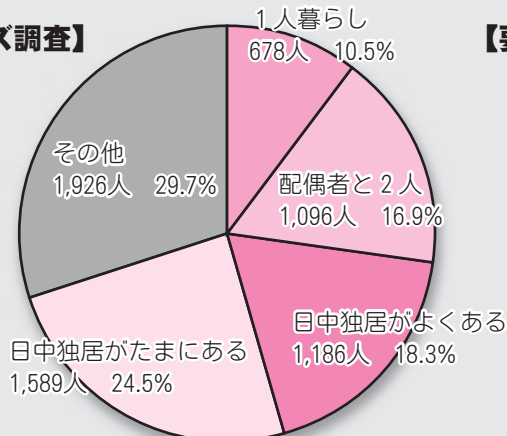
◆高齢者アンケート調査の概要

調査名	調査対象者	配布数	有効回答数	有効回収率
日常生活圏域 ニーズ調査	市内在住で、3月31日現在、65歳以上の人(要介護(要支援)認定を受けている人を除く)	9,149人	6,475人	70.8%
要介護(要支援) 認定者アンケート 調査	市内在住または介護保険施設入所者で、3月31日現在、65歳以上の要介護(要支援)認定を受けている人	1,514人	676人	44.6%

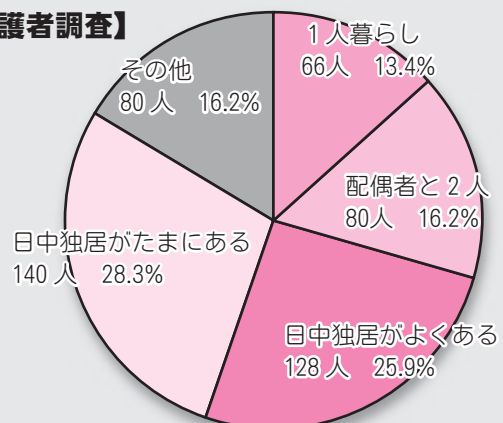
◆世帯構成

ニーズ調査では「1人暮らし」と「配偶者と2人」合わせて27.4%、要介護者調査では「1人暮らし」と「配偶者と2人」合わせて29.6%でした。

【ニーズ調査】



【要介護者調査】



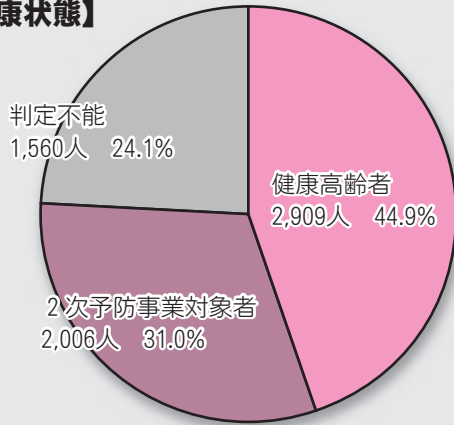
高齢者が安心して住み慣れた地域で生活するために

◆健康状態

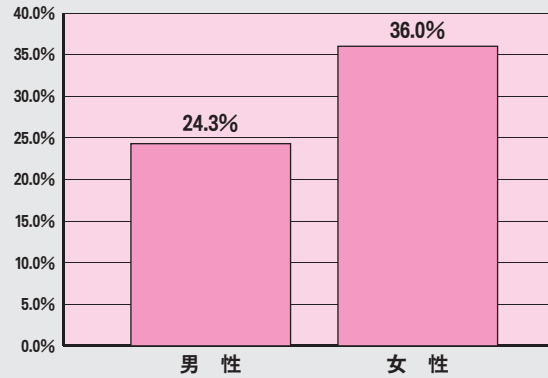
介護リスクの高い2次予防事業対象者(※)は、回答者のおよそ3人に1人の割合(31%)で、男性の24.3%に対して女性は36.0%と女性の割合がかなり高くなっています。

※2次予防事業対象者とは、介護認定は受けていないが、要介護状態になる恐れが高いと認められる65歳以上の高齢者のことです。

【健康状態】

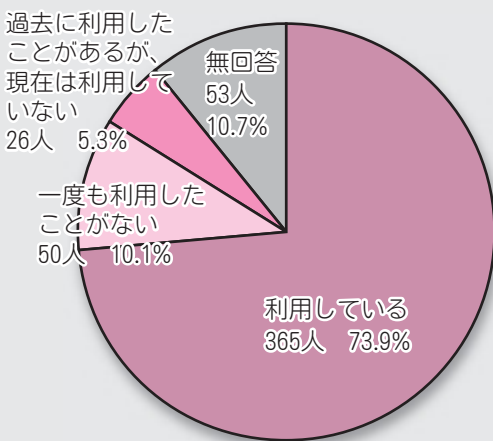


【2次予防事業対象者(男女別)】



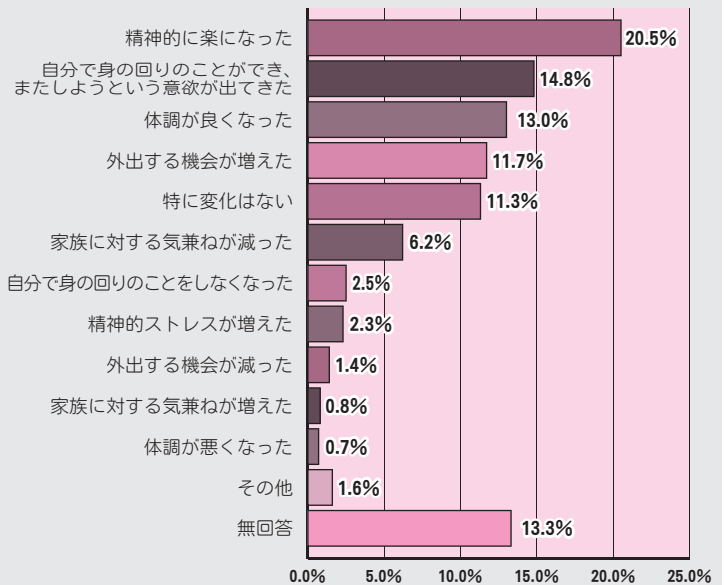
◆介護保険サービスの利用状況

要介護(要支援)認定者の73.9%の人が現在介護保険サービスを利用しているのに対して、15.4%の人が利用していない状況です。



◆介護保険サービス利用による生活の変化

「精神的に楽になった」が最も多くなっています。



◆もし介護が必要になった場合

自宅を改造する人を含めて、自宅に住み続けたい人が60.1%で、在宅志向が高くなっています。

